2015
カタログ

マウムサンチェク
心の散策

Maumsanchaek

마음산책

マウムサンチェク
心の散策

2000年８月16日、「マウムサンチェク(心の散策)」が出航した。
出版社の社名は、我が国の文字、ハングルでありながら強さよりは柔らかさを、読者への主張よりは深く染み入ることを基調として決まった。これからの出版は、読者とともに希望を分かち合い、人生の質を高め、文化の香りを感じ取ってもらえるものでなくてはならないという考えであった。
「マウムサンチェク」には二つの意味が含まれている。一つは「心へ旅立つ散歩、思考の散策」であり、もう一つは「読書で積み上げられる心の山の本」という意味である。ある人は「気に入って買った本(韓国語で「マウムサンチェク」の「サン」は「買った」という意味でもある。)」という意味合いもあるのではないかとした。
「マウムサンチェク」は企画が際立つ文学書、物語が込められた芸術書、思考の幅を広げる人文書を目指し、出版の新しいトレンドをつくっていく。

マウムサンチェク
心の散策

(121-840) ソウル市 麻浦区 ジャンダリ路 3アンギル 20
Tel: +82-2-362-1452
Fax: +82-2-362-1455
http://www.maumsan.com
maumsanchaek.blog.me
http://twitter.com/maumsanchaek
http://www.facebook.com/maumsanchaek
maum@maumsan.com

◆ こちらのカタログは韓国出版文化産業振興院(KPIPA)の「2014出版社輸出カタログ制作支援」を通じて制作されました。

目次

マウムサンチェク 紹介 1

マウムサンチェク ベスト・セレクション 5

文学の空間 19

文化の空間 29

思索の空間 40

人物の空間 43

知恵の空間 47

成長の空間 51

マウムサンチェク ベスト・セレクション

パク・ワンソ
(朴婉緒)

三つの願い

パク・ワンソ(朴婉緒)

世代を結集する洞察力で、私たちの暮らしを包み込んで癒す韓国文壇の巨匠、パク・ワンソ(朴婉緒)が描いた10編の短い物語を収録した。作家がこの物語にもつ愛情と自負心は格別である。作家自ら明かしたように、この作品を初めて発表した1970年代にも劣らない今日にも有効なメッセージであろう。短くて単純に見える物語だが、その中に込められた意味は、現代人に生きることの本当の価値を気付かせてくれる。子供が描いた絵を通じて初々しい人生の真実を見せるかと思えば、花嫁の道化と知恵で権威主義的な風習を皮肉る。また、画家夫婦の暮らしを通じて真の芸術魂と夫婦愛を見せてくれたりもする。真顔になったり皮肉らず、水彩画のように淡々と繰り広げられる物語。素朴な挿絵と調和した物語の一編一編が私たちの感性を呼び覚ます。

小説
176p
185×128mm
2009
978-89-6090-052-3

希望は目を覚ましている

イ・ヘイン(李海仁)

イ・ヘイン
(李海仁)

愛と尊敬を受け続けている修道者にして詩人でもあるイ・ヘイン修道女が日常からすくい取った100編の詩と闘病中に記録した思いをまとめた。その間、イ・ヘイン修道女はひたすら小さくて素朴なものの大切さを語りながら、その中で美しさと幸せを見つけて来た。この詩集にもそのような感性と思いは生きているが、闘病の中でその情緒のひだがさらに繊細に、また深くなっている。

つらい時間を送った詩人はこの本の出版にあたってこう語った。自分が「苦痛の学校」で修練を受けた学生であり、この学校で多くのことを学んだ、と。生きることの喜びと感謝を忘れず、人に向けた暖かいまなざしを失わないイ・ヘイン修道女。この本では、彼女が歩んできた人生の一つの頂点を見せてくれる。

ノンフィクション
220p
223×152mm
2010
978-89-6090-068-4

マウンサンチェク出版の本

この世で美しいもの

作家自ら集めておいた原稿、その遺言のような声。情愛深くてあたたかい大作家の最後の散文集。

マウンサンチェク出版の本

喜びが開かれる窓

詩と祈り、冥想と読書が一つになった喜びの瞬間。真の喜びと平和はどこから来るのか。

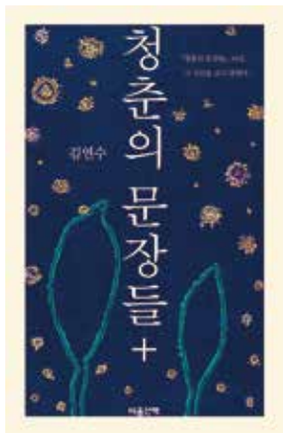
愛は孤独な闘い

イ・ヘイン修道女が自信と修道院の消息を知らせるために10余年間書き綴った手紙。

キム・ヨンス
(金衍洙)

青春の文章+

キム・ヨンス(金衍洙)



読者と評論家に広く愛される小説家キム・ヨンスが、登壇20周年と『青春の文章』出刊10周年を記念して、10編の青春の文章を散文と対談で改めてまとめた特別な散文集。

『青春の文章』は、幼年の思い出や成長痛に苦しんだ青年期、筆硯に親しむようになったきっかけなどの自伝的な話を、李白と杜甫の詩やイ・ドクム(李徳懋)とイ・ヨンヒュ(李用休)の散文、キム・グァンソク(金光石)の歌詞など作家の若き日をとらえた美しい文章とともに聞かせてくれる、出刊以来広く愛されてきた散文集である。彼の愛した時代、彼の愛した人々、彼の愛した文章が読者にもの悲しさと余韻を届けた前作、『青春の文章』。本書は、その『青春の文章』とともに歩んできた読者とのこれまでの10年を記憶し、これからもともに歩んでいく10年を期待させる。

ノンフィクション
208p
225×145mm
2014
978-89-6090-185-8

マウンサンチェク出版の本

◂◂◂ 青春の文章

◂◂ 私たちが過ごした瞬間·詩

◂ 私たちが過ごした瞬間·小説

言わば良い人

チョン・イヒョン(鄭梨賢)

チョン・イヒョン
(鄭梨賢)

都市生活者の人生と悩みを見抜いて描く同時代の作家、チョン・イヒョンの短くてひんやりとした全11編の作品集。ひとりで食事し、ひとりで狭い路地を歩く私たちの物語である。

先端に立っているような日々を生きる心細い18歳、寒さにおびえ、自分はたったひとりだと感じる22歳、行き先がわからない就業準備生、SNSの世界で偽物の「私」を生きてきた誰かの妻……。彼らは皆「言わば良い人」たちだ。それでも作家は、ひとりでいる者にむやみに「大丈夫だよ」とは言わない。ただひたすら、ひとりでいる他の誰かを私たちのそばにしばらく立たせておくだけである。作家は、群衆の中のひとりは結局ひとりではないことを、この小説を通して教えてくれる。

小説
200p
192×133mm
2014
978-89-6090-184-1

マウンサンチェク出版の本

風船

作家が生活人の目で透かして見た同世代の人生。

別れ

文学に携わる者としての自意識と、本を読んだ後に感じた共感の言葉のかけら。

キム・ヨンハ
(金英夏)

ラララハウス

キム・ヨンハ(金英夏)

独自の小説世界で評論家や読者から絶大な支持を得ている作家、キム・ヨンハの紙上の居場所、「ラララハウス」。そこで繰り拡げられる楽しい日常の反乱！作家のミニホームページからの文と写真、読者のコメントを集め、その中で起こった活発な疎通の感覚を紙の本の上に蘇らせた作品集である。

「フリートーク」「アルバム」「ゲストブック」などミニホームページの様式をとった本で、生活感覚と文学に対する著者の考えや読者との疎通の跡が、まるで友達のミニホームページに立ち寄ったよう。作家の私生活を「のぞき見る」楽しさもよい。

ノンフィクション
288p
215×135mm
2012
978-89-6090-134-6

マウンサンチェク出版の本

クルビ釣り

固定観念を揺さぶる軽快かつ自由な想像力が際立つ映画エッセイ。

キム・ヨンハ イ・ウイルの映画物語

キム・ヨンハの文とイ・ウイルのイラストが出会った！映画の中に深く入り込む愉快なコラボレーション。

すべてが歌

キム・ジュンヒョク(金重赫)

キム・ジュンヒョク
(金重赫)

「文壇のホモ・ルーデンス」「人間好奇心天国」と呼ばれるほど愉快で多芸多才な小説家キム・ジュンヒョク。彼がモノトーンの日常を明るく立体的に色づけしてくれた音楽とミュージシャンというありがたいパートナーを称えた散文集。古い歌謡から最新歌謡、インディーズ音楽から大衆音楽、ビートルズからヴェルヴェット・アンダーグラウンド、キンクス、パット・メセニーに至る「色のある」曲まで、30年を超える彼の音楽遍歴が、笑えて愉快で切ないエピソードとして蘇る。

春、夏、秋、冬の4章にまとめられたエピソードは、小説家キム・ジュンヒョクの感性を完成させたミュージシャンたちに対するオマージュであり、悩める青春に対する慰めであり、一人の小説家の文学生活に対する持論であると同時に、大切な日常に捧げる恋歌でもある。そうして著者は、音楽を媒介として過去と現在を行き交いながら時間の風化に耐える。季節の変化や時間の流れに焦るよりも、しっかりと時間に向き合って楽しむ「魔法」を読者と共有する。

ノンフィクション
264p
195×140mm
2013
978-89-6090-168-1

マウンサンチェク出版の本

なんとかなるさ

小説家キム・ジュンヒョク初の散文集。彼だけの好奇心と偏愛で綴る特別な世界。

キム・ヨンテク
(金龍澤)

ノンフィクション
256p
220×150mm
2011
978-89-6090-101-8

私の隣に横たわる人

キム・ヨンテク(金龍澤)

特有の質朴で飾り気のない言葉で人と自然、人生に関する叙情的な詩の世界をつくり出してきた蟾津江(ソムジンガン)の詩人、キム・ヨンテク。本書は、彼と専業主婦である妻との26年目夫婦の物語。二人がやりとりした手紙をまとめ、絶望と希望を行き来するすべての夫婦に解き放つ。著者は「夫婦は綱渡りで人生のどん底まで行って生還した人生の勝利者たち」であり、「崖っぷちを行き交い」ながらも「再び起き上がり、欠けた部分を埋めていきながら日常を取り戻す」ので、「偉大ではない夫婦はいない」と語る。

些細な日常についての考え深い対話、互いの大切さ、子育てや老いた両親への思いなど、中年夫婦なら誰もが共感する話であり、その中で、今の時代を生きる夫婦と家庭が進む道を見極めることができるだろう。

本書は「夫婦間の疎通法」であり、人生の生きた指針書である。

マウンサンチェク出版の本

◂◂◂◂ まつげ
◂◂◂ 恋愛詩集
◂◂ 息子の心、父の心
◂ 詩が私に訪れた(全5冊)

心の辞典

キム・ソヨン(金素延)

キム・ソヨン
(金素延)

深味のある視線で人生の細部をとらえる詩人、キム・ソヨンが「心」についての定義を提示した辞書である。心はきちんと読み取るのが難しい。体は見て触ることができるが、心はそうはいかない。そのため人は、自分の心はもちろん他人の心もよくわからないと悩み、葛藤し、そして苦しむ。

詩人は繊細な感性で心の言葉をじっと見つめ、それを私たちの前に広げながら、察するのが難しい心の色を提示する。300余りの言葉を通じて、心のもとをなす喜怒哀楽愛悪欲やその周りに存在する言葉や物事を私たちに見つめさせる。

ノンフィクション
320p
193×138mm
2008
978-89-6090-027-1

マウンサンチェク出版の本

シオッ(ㅅ)の世界

シオッ(ㅅ)から始まる35個の言葉に「詩(シ)の服(オッ)」を着せて行く、日常の散文的な定義。

コ・ジョンソク
(高宗錫)

ノンフィクション
272p
210×148mm
2009
978-89-6090-049-3

オルマンジダ(撫でる)

コ・ジョンソク(高宗錫)

韓国語の美しさを探求してきた明澄なジャーナリスト、コ・ジョンソクが解くエロス。「愛は最も原初的な感情であり、固有語はその原初的な感情の井戸」と語る彼は、韓国固有語である40個の「愛の言葉」を拠点に、関連語や隣接語と比較したり、時にはニュアンスや語源までたどりながらさまざまな脈絡から「言葉の愛」を洞察する。これとあわせて表題語と関連した国語辞典の釈義の提示から文学作品や歌詞などを通じて意味の脈絡を把握し、漢字、英語、ロマンス語、中世韓国語などと比較考察する。本書は言葉と体のための一種の「愛の辞書」である。「愛の言葉」は決して日常語の範囲を越えないが、その中に隠されていた言葉の「素肌」はふたたび日常へと回帰し、韓国語をより豊かに味わい深くする。

マウンサンチェク出版の本

◂◂◂◂◂コード盗み
◂◂◂◂ ヒストリア
◂◂◂ コ・ジョンソクの英語の話
◂◂ 母国語の素肌
◂ 足跡

パク・チャヌクのモンタージュ

パク・チャヌク(朴贊郁)

映画「オールドボーイ」の監督であるパク・チャヌクの初の散文集。スクリーンでは見られないパク・チャヌク監督の真骨頂を奥の奥まで見せてくれる。「モンタージュmontage」は一般的に容疑者を捜すための合成写真という意味で使われるが、カットとカットの組み合わせから成り立つ映画ジャンルの核心的な特性を現わす用語でもある。コラム、エッセイ、書面・セルフインタビュー、制作日誌などさまざまな文が集まり、「魅力的でふてぶてしい」パク・チャヌク監督のモンタージュを構成している。世界的な映画監督として位置づけられるまでの過程と、アクションとカットの間で起こるさまざまな物語を愉快な文章で綴っている。

パク・チャヌク
(朴贊郁)

ノンフィクション
300p
213×152mm
2005
978-89-8935-181-8

マウンサンチェク出版の本

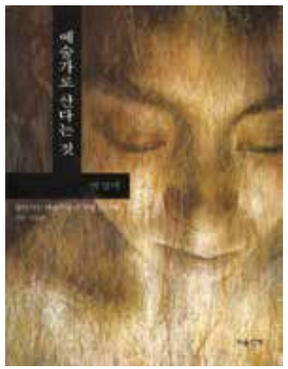
パク・チャヌクのオマージュ

監督が好きで尊敬している映画、さらには映画のジャンルすべてに捧げるオマージュ。

パク・ヨンテク
(朴榮澤)

芸術家として生きるということ

パク・ヨンテク(朴榮澤)



芸術
208p
225×175mm
2001
978-89-8935-112-2

美術評論家であり展示企画者でもあるパク・ヨンテクが、この時代の真の芸術家10人の仕事部屋を訪問して書いた散文集。常に新しさを探し求めるキュレーターとしての2本の足と、美術評論家としての鋭い目を広く備えた彼は本書を通して、隠れて生きる芸術家たちの仕事部屋という風変わりな空間へ読者を招待する。

真の芸術とは何か。この時代に芸術家として生きていくということはどのような意味を持つのか。彼らの生き方は私たちに何を語りかけるのか。彼らの切実さはどこから始まるのか。著者が投げかける話題をじっくり考えながら、作家たちは皆それぞれの事情や経験を反映させ個性の強い作品世界をつくりだしている。一つの頂点に向けて熾烈に芸術魂を燃やす人々であるということ、そしてこの時代の真の芸術家であるということは、これらを一つに結合する共通分母である。

マウンサンチェク出版の本

◂◂◂◂◂ 植物性を思う
◂◂◂◂ ギャラリーに行く道
◂◂◂ 顔が語る
◂◂ 収集美学
◂ 悼む美術

ニューヨーカー

パク・サンミ(朴商美)

パク・サンミ
(朴商美)

若い芸術家パク・サンミが魅力的なヤッピーの都市、ニューヨークで10年以上ニューヨーカーとして生きながら出会った情熱的なニューヨーカーたち、そして活気あふれるニューヨークの物語を綴った。31編の散文と自ら撮った写真、歩き回ってようやく手に入れた86点の絵資料が収録されている。

さまざまなニューヨーカーたちがつくり出す独特な美学は、巨大都市らしくない人間的な温度と質感を持っている。彼女の足取りを追って異邦人の視線から隅々を歩き回るうちに、ニューヨークの新鮮な魅惑の中へと徐々に引き込まれる。

芸術
296p
257×188mm
2004
978-89-8935-161-0

マウンサンチェク出版の本

趣向

芸術家でありファッション系にも携わっていた著者が美術、ファッション、インテリアの趣向を密かに探求した。

文学の空間

「文学という深くて鬱蒼とした森を歩きながら生の真正性を問う」
この空間は文学的なあらゆるジャンルを包括する。あえてシリーズと表現しない理由は、そのような開かれた心でこの空間がつくられ、広がってほしいという願いからである。
詩、小説、散文、戯曲などさまざまな文学的様式がここに収められる。

2014

シルヴィア・プラス：ドローイング集 Sylvia Plath; Drawings

シルヴィア・プラス／オ・ヒョナ 訳

詩人シルヴィア・プラスの画家としての特別な面貌、すぐれた才能をもつ一人の芸術家の記録。

低地 The Lowland

ジュンパ・ラヒリ／ソ・チャンリョル 訳

ピューリッツァー賞受賞作家がインドとアメリカを舞台に描く、去りし者と残りし者についての繊細な一代記。

この境界を越えればあなたの乗車券はもう有効ではない Au-dela de cette limite votre ticket n'est plus valable

ロマン・ガリー／イ・ソンヒ 訳

無力な肉体に宿った若い心、老いに対する不安、そのすべてを越えたものに向けたロマン・ガリー式の愛する方法。

夜は静かだろう La Nuit Sera Calme

ロマン・ガリー ／ペク・ソンヒ 訳

ロマン・ガリーとフランソワ・ボンディのはばかることのないおしゃべり。「魅惑者」が語りたかったすべて。

ジュリアン Twenty Days with Julian & Little Bunny

ナサニエル・ホーソーン／ポール・オースター／チャン・ヒョンドン 訳

ポール・オースターが発見し編集した150余年前の記録、ナサニエル・ホーソーンの明朗快活な育児日記。

昔の女たちの話

チョ・ヘラン(趙恵蘭)

数百年を超えてきて私たちに語りかける。極めて現在的な、昔の小説の中の女たちの話。

2013

レディーL Lady L

ロマン・ガリー／ペク・ソンヒ 訳

シャルル・ド・ゴールが最も好きだったロマン・ガリーの小説。19世紀のヨーロッパを舞台に繰り広げられる革命と愛の歌。

完璧な日々 Long Life

メアリー・オリバー／ミン・スンナム 訳

ピューリッツァー賞受賞詩人メアリー・オリバーが歌う、自然と文学と人生についての透明で美しい賛歌。

軽い日々 Light Years

ジェームズ・ソルター／パク・サンミ 訳

アメリカ最高の文章家、ジェームズ・ソルターの代表作。光る文章に込められた結婚と欲望の問題。

行動半径 Elbow Room

ジェームズ・アラン・マクファーソン ／ チャン・ヒョンドン 訳

黒人初のピューリッツァー賞受賞作家が綴る、人間の本質をじっくりと考えさせる12編の短編小説。

叫び声 Hue and Cry

ジェームズ・アラン・マクファーソン ／ アン・ジョンヒョ 訳

先頭に立ち自分たちを顧みる成熟した視線で人種的慣習に別れを告げた卓越した小説。

ベル・ジャー The Bell Jar

シルヴィア・プラス／コン・ギョンヒ 訳

シルヴィア・プラスの唯一の小説であり、『ライ麦畑でつかまえて(The Catcher in the Rye)』に匹敵する傑作と評価された自伝的小説。

シルヴィア・プラス詩集 The Collected Poems

シルヴィア・プラス／パク・ジュヨン 訳

生きることへの非義に向けられた執念深い探求、怒りと苦痛、極限まで自分を追い詰めた実験と抵抗の詩。

祝福された家 Interpreter of Maladies

ジュンパ・ラヒリ／ ソ・チャンリョル 訳

ジュンパ・ラヒリ初の小説集にしてピューリッツァー賞受賞作。境界に立った者の鋭い視線が光る。

しっぽを振るあなた

クォン・ヒョグン(權赫雄)

詩人の感性から読み取る500種余りの動物についての話。繊細な水彩画を添えた、生物書と哲学書と詩集のような辞書。

まだときめくことは多い

ハ・ソンラン(河成蘭)

韓国文学の短編美学を代表する作家、ハ・ソンラン。19歳の文学少女から登壇18年まで、彼女を成長させたその瞬間。

女の輝き Clair de femme

ロマン・ガリー／キム・ナムジュ 訳

ロマン・ガリーが晩年に耽った恋の姿。偶然出会った男女が巻き起こした一夜作りの恋の騒動。

2012

古典耽溺 2
ホ・ヨン(許然)
文学、哲学、社会、科学、経済などさまざまな分野の古典60冊を厳選、記者としての鋭い視線と詩人の繊細な目で古典の前にひざまずく喜びを贈る。

白い犬 Chien Blanc
ロマン・ガリー / ペク・ソンヒ 訳
黒人だけを襲う「白い犬」を治癒しながら経験していく苦難の旅。60年代末、ロマン・ガリーのアメリカでの体験がそのまま盛り込まれた本格的社会小説。

ロマン・ガリーとジーン・セバーグの息詰まる愛 Romain GARY Jean SEBERG: Un Amour a Bout de Souffle
ポール・セルジュ・カコン / ペク・ソンヒ 訳
フランスの作家ロマン・ガリーと女優ジーン・セバーグの切ない愛の実話。「神話」に色づけされた彼らの関係を赤裸々に描いた伝記。

ソロモン王の苦悩 L'angoisse du roi Salomon
エミール・アジャール / キム・ナムジュ 訳
ロマン・ガリーがエミール・アジャール名義で発表した最後の小説。生と死、そして年を重ねることに関するエミール・アジャール式の洞察。

私一人の戦争
ユン・ソングン(尹盛根)
2011年4月にこの世を去った詩人ユン・ソングンの遺稿詩集。闘病生活をしながら書き綴った熾烈な日々の記録であり、生と人に対する救いの歌。

木が言った 2
コ・ギョホン(高圭弘)
「木の代弁人」コ・ギョホンが語る木の賛歌、第2篇。木と花を歌った81編の美しい詩、そして詩のような美しい解説を収録した。

2011

毒蜘蛛 Mygale
ティエリー・ジョンケ / チョ・ドンソプ 訳
一人の形成外科医が繰り広げる、常識とタブーを飛び越える復讐劇。ペドロ・アルモドバル監督が選んだ唯一の原作小説。

彼らそれぞれの楽園 Land's End
マイケル・カニンガム / チョ・ドンソプ 訳
エドワード・ホッパー、ユージン・オニールなど数多くの芸術家たちが愛した地、プロビンスタウン旅行記。

傑作の空間 American Writers at Home
J. D. マックラッチー / キム・ヒョンギョン 訳
マーク・トウェイン、ハーマン・メルヴィルなど19世紀のアメリカ作家21人の家についての人間的な記録。

2010

古典耽溺
ホ・ヨン(許然)
プラトン、孔子からミシェル・フーコー、トーマス・クーンまで、時代と東洋、西洋、すべてをあわせる古典を一冊で読む。

昨夜 Last Night
ジェームズ・ソルター / パク・サンミ 訳
完璧なスタイリスト、ジェームズ・ソルター！人間の情熱と欲望を、圧縮された文章と精緻な比喩で暗く官能的に描き出す。

巨額100万ドル A Cool Million & The Dream Life of Balso Snell
ナサニエル・ウェスト / チャン・ホヨン 訳
20世紀アメリカ文学の偉大な作家、ナサニエル・ウェストがその真骨頂を見せてくれる2編の小説。

ただ良い人 Unaccustomed Earth
ジュンパ・ラヒリ / パク・サンミ 訳
ジュンパ・ラヒリ式の家族オデッセイ。

2009

小川に本がある
アン・チウン(安致雲)
自然と芸術を通して人間らしい生き方の回復を語る演劇評論家、アン・チウンの散文集。

サイレントマシン、キルジャ
キム・チャンワン(金昌完)
ミュージシャンのキム・チャンワンが詩的な歌詞で凝縮した想像力を自由に広げた物語集。

2009

猫の紳士の物語 The Fur Person
メイ・サートン / チョ・ドンソプ 訳
猫と人間の関係についての叙情的な物語。1957年の出刊以来、指折りの「猫物語の古典」である。

古典小説の魅惑
チョ・ヘラン(趙惠蘭)
古典学者、チョ・ヘラン教授が紹介する李氏朝鮮時代の小説。当時の生き生きとした人情世態が感じられる。

ローラ、シティー The Brief History of The Dead
ケヴィン・ブロックマイヤー / キム・ヒョヌ 訳
全人類が犠牲になってただ一人生き残る！ファンタジーと思索が入り混じった優雅な小説。

治癒 Kyra
キャロル・ギリガン / キム・イソン 訳
アメリカの著名な心理学者キャロル・ギリガンによる、愛に関する知的な小説かつ思慮深い理論書。

デニーロ・ゲーム De Niro's Game
ラウィ・ハージ / コン・ジンホ 訳
戦争で荒れ果てたベイルートで成長する二人の少年の運命を鮮やかに描いた小説。

果報者 54 Der Glückspilz: Satirischer Roman
エフライム・キション/イ・ヨンスク 訳
エフライム・キションの遺作小説。一人の男の人生の大逆転劇が作家特有のユーモアと風刺で繰り広げられる。

教授たち Small World
デイヴィッド・ロッジ / コン・ジンホ 訳
ウンベルト・エーコから賛辞を受けた、学界に対する風刺小説。知的な満足感と楽しさを同時に味わえる。

整形美女
姫野 カオルコ / クォン・ナムヒ 訳
型にはまった美意識を代弁する整形手術、それに伴う苦痛に対する暴露と洞察が光る小説。

2008

オリガ·モリソヴナの反語法
米原万里 / キム·ユンス 訳
スターリン時代を舞台に苛酷な人生を生きた天才ダンサー、オリガの人生を描いた推理小説。

2007

ファン·インスクの一日一楽
文：ファン·インスク(黄仁淑)、
絵：ソン·ヒョンギョン(宣鉉景)
詩人ファン·インスクの物語とソン·ヒョンギョンの絵が出会い、些細な日常の幸せを見せてくれる。

ソレデモという島がある
キム·スンヒ(金勝熙)
女性の日常と家族をのぞき込むキム·スンヒの文とキム·ジョムソンの絵が一つになった絵エッセイ。

木が言った
コ·ギュホン(高圭弘)
木に関する70編の詩に木コラムニストのコ·ギュホンが話を添えた。文学と生態的な感受性の調和。

思い出トランプ
向田邦子 / キム·ユンス 訳
ホームドラマの様式を構築した作家の短編集。幸せと不幸が絡み合った人生を描く。

指先にった香り
ソンジョンソプ(孫宗燮)
漢者ソンジョンソプがし、感想を感想を添えた昔の詩280首。むほどに深く新しい。

仮面の生 Pseudo
エミール·アジャール / キム·ナムジュ 訳
著者の文学的起源と言える小説。20歳から60歳までの自身の精神的軌跡をたどる。

2006

犬のためのステーキ Kishons Schönste Geschichten Für Kinder
エフライム・キション / チェ・ギョンウン 訳
ユーモアあふれるカタルシスと人生の知恵を見事につなぎあわせた全39編の短編小説。

人生は深まりゆく
ク・ヒョソ(具孝書)
幼年時代から現在まで、作家ク・ヒョソが胸の中に抱いてきた生の記録、全33編。

2005

スミラの雪の感覚 Frøken Smillas Fornemmelse For Sne
ペーター・ホッ / パク・ヒョンジュ 訳
冷たい未知の地、氷と数字、雪に対する深みのある洞察力、幼い少年の死にまつわるミステリー。

新しい私よ、こんにちは Now is the Time to Open Your Heart
アリス・ウォーカー / イ・オクジン 訳
女性活動家であり現代の黒人文学を代表する作家でもあるアリス・ウォーカーが、一人の女性のスピリチュアルな旅を描いた小説。

静かな情熱
チョ・ウン(趙銀)
自意識の強い一人の少女が詩人に成長するまで。詩人チョ・ウンの人生の軌跡。

彼女たちのメルヘン Scheherazades Schwestern
ルイーゼ・リンザー ほか / イ・ヨンスク 訳
12人のヨーロッパ女性作家たちが聞かせる幻想的な物語。よりよい世界への彼らの熱望。

名前の後ろに隠された愛 The Namesake
ジュンパ・ラヒリ / パク・サンミ 訳
ピューリツァー賞受賞作家、ジュンパ・ラヒリの初の長編小説。移民第2世代の若者の姿を描いた。

2003

キスはキス、ため息はため息
チョ・ヨンホ(曺龍鎬)
韓国初の中南米・アフリカ文学紀行。
文学を通じて第3世界の現実をのぞき見る。

チョ・ギョンランのワニ物語
チョ・ギョンラン(趙京蘭)
作家チョ・ギョンランの自伝的な文と日本のイラストレーター山草鴇子の絵が出会った韓日の合作品。

ローズからの手紙 Lettre d'été
パスカル・ローズ / イ・ジェリョン 訳
著者が死と闘う自身の内面世界をトルストイに告白する手法で綴った。

2002

インスク漫筆
ファン・インスク(黄仁淑)
平凡な日常を覆す愉快な詩人、ファン・インスクの散文集。人生のペーソスが漂っている。

あなたという詩
シン・ヒョンリム(申鉉林)
詩人シン・ヒョンリムが大切にする52編の詩。感性を取り戻し、人生の喜びへの近道を案内する。

ふくろう
ウォン・ジェギル(元在吉)
作家のウォン・ジェギルの田舎暮らし。寛大さとユーモアがにじみ出る、自然で飾り気のないゆったりとした生活の様子を描く。

Jの物語
シン・ギョンスク(申京淑)
JとJの周りの人物たちが織りなす44編の短編小説。あなたと私、私たちの若き日の肖像。

いなごの一日 Day of the Locust
ナサニエル・ウェスト / イ・ジョンイン 訳
初の反ハリウッド小説。燃える欲望に酔いしれたハリウッドに魅せられ、群がる火取り虫のような人生を描く。

ミス・ロンリーハート Miss Lonelyhearts
ナサニエル・ウェスト / イ・ジョンイン 訳
大恐慌期の暗鬱な社会像を通じて人間と社会を深く洞察したウェストの傑作。

2002

死ぬ前の100日間 Darkling I Listen
ジョン・エヴァンジェリスト・ウォルシュ / イ・ジョンイン 訳
19世紀イギリスの浪漫主義の天才詩人ジョン・キーツの生と文学、愛と死を追った評伝。

2001

崖で暮らす
チョ・ウン(趙銀)
周りの人々を素材にして共に生きていく話をざっくばらんに綴った詩人チョ・ウンの散文。

痩せた乳房
イ・チョンジュン(李清俊)
生の問題を究め文学一筋に生きてきた作家、イ・チョンジュンの心がにじみ出る散文集。

男たちは知らない
キム・スンヒ(金勝熙)
詩人キム・スンヒが選んだ国内外の44編の女性詩人の詩。女性の人生を語る生き生きとした声。

2000

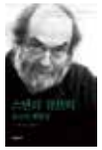
どろどろした本
チェ・スンホ(崔勝鎬)
自我と他者、誕生と死、事物と意識、現実と非現実が練られた新しいかたちの本。

人生は過ぎ去る
ク・ヒョソ(具孝書)
人生を共にした人々を回想し、幸せな人生に関する問いを投げかける散文集。

文化の空間

「文化の香りを通じて人生の楽しさを享受する」
文化は私たちを取り巻くあらゆる人生の層をいっそう豊かにする。
人生の美しい香りを感じ、楽しもうとするあなたのための場所。

2014



スタンリー・キューブリック
Stanley Kubrick: Interviews
スタンリー・キューブリック／エン・チョルヒ 訳
20世紀映画史の巨匠、完璧主義者スタンリー・キューブリックの生の声。普段見られなかったスタンリー・キューブリックの真の姿を集めた16編のインタビュー。

2013

クリント・イーストウッド Clint Eastwood: Interviews
クリント・イーストウッド／キム・ヒョヌ 訳
1971年から2011年までの40年の監督生活を通じて振り返るクリント・イーストウッドの映画人生。26編のインタビューを通して、巨匠俳優にして監督でもある彼の哲学をのぞき見る。

窓の外のニューヨーク The City Out My Window
マッテオ・ペリコリ／イ・ヨンジェ 訳
建築家でありイラストレーターでもあるマッテオ・ペリコリが描いたニューヨーカー63人の家の窓から見える風景、そして彼らが明かすそれぞれのニューヨーク。

2012

明洞のお嬢さん
キム・ミソン
パク・インファン(朴寅煥)、キム・スヨン(金洙暎)などの男性文学者たちに代表される50、60年代の浪漫とデカダンの町、明洞。そこで女性がどのように主体へと生まれ変わることができたのか、その軌跡をたどる一冊。

ダニー・ボイル Danny Boyle: Interviews
ダニー・ボイル／ペク・ハンジン 訳
ダニー・ボイルに関するめったにない記録。躍動性の映画美学が盛り込まれた32編のインタビュー。

2011

ゴッホのグルニエ Van Gogh's Table: At the Auberge Raboux
フレッド・リーマン、アレクサンドラ・リーフ／パク・デジョン 訳
「カフェ生活者」ヴァン・ゴッホの最後の安息所と彼を癒やした食べ物の話。

ロシアは今日も荒れ模様
米原万里／パク・ヨンジョン 訳
ロシアでのさまざまな経験と米原万里らしい国際人的な思考、はじけた発想と文体が合わさって完成した「米原風ロシア論」。

米原万里の「愛の法則」
米原万里／ホン・ソンミン 訳
米原万里のコミュニケーション講義。疎通のメッセンジャーが言語、人、世界の関係を洞察する。

見えないドラゴン The Invisible Dragon: Essays on Beauty
デイヴ・ヒッキー／パク・デジョン 訳
アメリカの美術評論家、「火を吹くドラゴン」デイヴ・ヒッキー。美しさを見つめる反抗的な視線。

手紙で読む悲しみと喜び
カン・インスク(姜仁淑)
手紙、たった一人のための文学。盧天命からナム・ジュン・パイク(白南準)まで、芸術家の肉筆の手紙49通。

2010

ゲリラ・ガールズの西洋美術史 The Guerrilla Girls' Bedside Companion to the History of Western Art
ゲリラ・ガールズ／ウ・ヒョギョン 訳
匿名女性芸術家の集まり、ゲリラ・ガールズが美術史に反撃を加える。歴史に埋もれた優れた芸術家たちを見つめる。

フランス・スタイル French Women for All Seasons
ミレイユ・ジュリアーノ／チョ・ドンソプ 訳
素朴で環境にやさしい生活を強調し、フランス式の味と趣を扱った自然主義スタイルの百科事典。

真昼の星空
米原万里／キム・ソクジェン 訳
洞察力と才知が光る80のコード。国境と言語をまたぐ知識旅行者の教養のエッセンス！

2010

パンツの面目ふんどしの沽券
米原万里 / ノ・ジェミョン 訳
下着は人間と人間の間の最後の「障壁」である。境界のない知識人の、パンツから読み解く世界文化。

味に魅せられたロックスター
Sound Bites
アレックス・カプラノス / チャン・ホヨン 訳
ロックバンド、フランツ・フェルディナンドが世界ツアー中に味わった珍味と食にまつわる印象的なエピソード。

スペイン・スタイル Spain: A Culinary Road Trip
グウィネス・パルトロー、マリオ・バターリ / コン・ジンホ、バク・デジョン 訳
俳優のグウィネス・パルトローとスターシェフのマリオ・バターリが一緒に旅立ったスペイン、そこで出会った特別な味と趣。

本の使い方
チョン・ウンスク(鄭恩淑)
本にも取扱説明書が必要だ。26年目編集者の読書論と極上の本の愛し方。

あなたのシベリア One Hundred Siberian Postcards
リチャード・ワイリック / イ・スヨン 訳
シベリアの自然、文化、歴史に出会える100編の散文と心温まる養子の記録。

発明マニア
米原万里 / シム・ジョンミョン 訳
世界を新しく見つめさせる100の発明。境界のない知識人の想像力が際立つ。

2009

心臓に毛が生えている理由
米原万里 / チョ・ヨンリョル 訳
文化や言語、食、歴史を縦横無尽に行き交う71編の異文化旅行。

マザーの話
ポン・ジュノ(奉俊昊)
「母なる証明」はどこから始まったのか。ポン・ジュノ監督が直接描いた映画「母なる証明」のストーリーボードとシナリオ。

クラシック中毒
チョ・ソンヒ(趙善姫)
映像資料院長3年、チョ・ソンヒを魅了した伝説の映画のひたむきさと愛おしさについて。

旅行者の朝食
米原万里 / イ・ヒョンジン 訳
自身の経験はもちろん、食に関する古今東西のちょっとした話やことわざ、文化史まで盛り込んだ食べ物論。

未完の作品たち Les inachevées
イザベル・ミラー / シン・ソンリム 訳
完成作品に劣らない美的価値とドラマを秘めた11の未完成作品をめぐる話。

コーエン兄弟 The Coen Brothers: Interviews
ジョエル・コーエン、イーサン・コーエン / オ・セイン 訳
天才的な悪童たちが頼もしい巨匠になるまで。コーエン兄弟のすべて。

2008

すべての文章は私のために存在する
キム・ジンギュ(金珍圭)
木で治し、木で成長した作家キム・ジンギュの読書エッセイ。

ベートーベンの家計簿
コ・ギュホン(高圭弘)
「お金」という興味深いキーワードで新しく見つめた22人の音楽家の人生と音楽。

リュ・スンワンの本色
リュ・スンワン
自分の色が明確なリュ・スンワン監督が観た映画、つくった映画に関するすべてのこと。

ヒトのオスは飼わないの?
米原万里 / キム・ユンス 訳
犬、猫と一緒に暮らした時間についての記録。動物を通じて人間を省みる過程が描かれている。

2008

ウディ・アレン Woody Allen: Interviews

ウディ・アレン / オ・セイン 訳

さまざまな形式でニューヨーカーのペーソスを描き出した巨匠、ウディ・アレンのインタビュー集。

ティム・バートン Tim Burton: Interviews

ティム・バートン / キム・ヒョヌ 訳

未熟で若い監督が巨匠になるまで、ティム・バートンの成長過程を見せる20年にわたるインタビュー。

打ちのめされるようなすごい本

米原万里 / イ・オンスク 訳

読書生活人の米原万里が死ぬ間際まで手放さなかった本についての記録。

2007

スプリング猫

ノ・ソクミ(盧石美)

猫と一緒に生きて行くことについての111編の物語。画家ノ・ソクミの強烈な絵と印象的な短文が魅力的。

評論家売血記

キム・ヨンジン(金泳辰)

映画評論の手本のような巧みな文章を書き続けてきた評論家キム・ヨンジン初の映画散文集。

ジム・ジャームッシュ Jim Jarmusch: Interviews

ジム・ジャームッシュ / オ・セイン 訳

インディーズ映画監督であり純粋な映画マニアでもあるジム・ジャームッシュ。20余年にわたり記録された彼のインタビュー集。

ピカソの甘い復讐 Picassos Susse Rache

エフライム・キション / パン・ソンワン 訳

現代芸術、そんなに奥深くなはい。時に笑える！現代芸術の難解さををズバリと皮肉った本。

2006

師匠の玉篇

チョン・ミン(鄭珉)

古文の行間に自身の人生を重ねた漢文学者チョン・ミンの散文集。古文と人生が出会い、共に響きあう。

印象主義者の恋人たち Impressionist Quartet: The Intimate Genius of Manet and Morisot, Degas and Cassatt

ジェフリー・マイヤーズ / キム・ヒョヌ 訳

伝記的観点から見た印象主義の画家であるマネとモリゾ、ドガとカサットの4人の芸術と愛。

ニューヨーク物語 Gotham Handbook: New York, Mode D'Emploi

ポール・オースター、ソフィ・カル / シム・ウンジン 訳

「現実と虚構の関係をどのように遊びとして楽しめるか」作家ポール・オースターとのコラボレーション。

本当の話 Des Histoires Vraies

ソフィ・カル / シム・ウンジン 訳

フランスの代表的な写真作家ソフィ・カルが写真と共に描く自伝的な話。

2006

楽天主義の芸術家 Breaking Ground

ダニエル・リベスキンド / ハ・ヨニ 訳

9・11テロで消えた世界貿易センターの現場を再建するようになった建築家リベスキンドの情熱と冒険談。

アンディ・ウォーホルを手に入れる Bought Andy Warhol

リチャード・ボルスキー / パク・サンミ 訳

美術家、ディーラー、オークションハウス、コレクターたちの知られざる話など、美術市場のすべて。

キム・ジョムソンスタイル２

キム・ジョムソン(金點善)

キム・ジョムソンが出会った「自分だけの言葉とスタイル」をもった17人の芸術家についての即興演奏のような記録。

2006

キム・ジョムソンスタイル 1
キム・ジョムソン(金點善)
突飛で無邪気な画家キム・ジョムソンへ、年齢も性別も超えた47人の友人たちが贈る愛情の告白。

映画の中の顔 Du Visage au Cinéma
ジャック・オーモン / キム・ホヨン 訳
顔のイメージについての美学的分析。映画とイメージ、現実の関係に対する深い思索。

キム・ジウンのショートカット
キム・ジウン(金知雲)
キム・ジウン監督の「本当」の姿。エッセイ、DVD日記、制作記、俳優論、インタビューなどが収録されている。

##

キム・ファヨンのアルジェリア紀行
キム・ファヨン(金華榮)
「カミュ専門家」キム・ファヨンが作り上げたカミュとジッドの国、アルジェリア。韓国初のアルジェリア紀行の本。

2005

めがねのエロティシズム L'Érotique des Lunettes
フランク・エヴラール / ベク・ソンヒ 訳
「めがね」というなじみ深いものに秘められたさまざまな意味にエロティシズムの観点から接近した本。

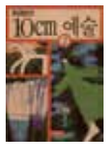
竹筒の音
チョン・ミン(鄭珉)
はっと目覚めさせる、先人の竹筒(しっぺい)のような文章と出会う。

ドジャー・ブルー
イ・ウイル(李宇逸)
思い浮かべるだけで幸せな気持ちになる、55のささいな人生の幸せ。

##

私のデザイン物語
イ・ナミ(李那美)
一つの発想が具体的な形になるまでの冒険談と情熱、デザイン哲学が盛り込まれたエッセイ。

2004



10cm 芸術 2
キム・ジョムソン(金點善)
伝統的な絵画とデジタル絵画の境界をなくす試み。キャンバスとモニターが同次元で出会う。

耽書主義者の本
ピョ・ジョンフン(表晶勳)
本とはすなわち自由の別名である。耽書主義者ピョ・ジョンフンのアイデンティティーと内密な自意識をうかがう。

2003

愛の部屋 Les Chambres
ベルナール・フォコン / シム・ミンファ 訳
演出写真の先駆者である著者が韓国のために50点の写真にエッセイをつけ加えた世界初の版本。

ラブブック
イ・ウイル(李宇逸)
愛に関する文学作品とイ・ウイルの絵が出会った。愛に悩むすべての者に贈る本。

私は成人向け
キム・ジョムソン(金點善)
キム・ジョムソンスタイルのデジタル花札の絵57点と芸術家の自意識をのぞき込める73編の散文。

2003

キム・スンヒ・ユン・ソクナムの女性話

キム・スンヒ(金勝熙)・ユン・ソクナム(尹錫男)

女性詩人と画家が32編の散文と41点の美術作品で語る女性に関する話。

2002–2001

アルコールと芸術家 Se Noyer dans L'alcool?

アレクサンドル・ラクロワ／ベク・ソンヒ 訳

芸術家と彼らの作品を通じて、アルコールと芸術家の有機的かつ神秘的な関係を突き止めた本。

漫画堂

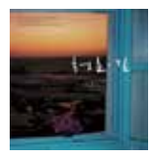
ハム・ソンホ(咸成浩)

漫画堂の本の山からハム・ソンホが選び出した漫画。新しい読み方を提示する漫画批評書。

私には二人の男が必要 Ich habe Einen Liebhaber

マルチナ・レーリン／イ・ヨンスク 訳

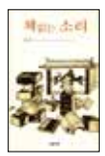
「愛人」のいる23人の既婚女性のインタビュー集。女性が感じる現実的な問題をありのままに込めた。



青春・道 La plus belle route du monde

写真：ベルナール・フォコン／文：アントニン・ボトスキー／ベク・ソンヒ 訳

20年以上の年の差がある写真作家と作家。二人の男が世界を旅しながら交わした自然と人生に対する交感。



本を読む声

チョン・ミン(鄭珉)

漢文学者チョン・ミン教授の古典読書エッセイ。古文から浮び上がる古人たちの内面風景47編。

10cm 芸術

キム・ジョムソン(金點善)

四方10cmのタブレットにペンで描き出した世界、言葉でつくり出した画家キム・ジョムソンの芸術と人生。

2000

一人だけの時間

イ・ナムホ(李南昊)

画一化された「私たち」の世界から「私」の世界へ進む思索の言葉。透明な孤独を楽しむ方法。

思索の空間

「内面世界を歩きながら生の意味を探求する」
思索とは魂の響きに耳を澄ますことである。その響きの高低を通じて私たちはさまざまな内面世界を体験する。
内面世界を多彩な言葉で表現した空間。

2009

私は100歳、あなたに聞かせたい話があります J'ai 100 ans et je voudrais vous dire
シスター・エマニュエル／ベク・ソンヒ 訳
「カイロのくず拾い」シスター・エマニュエルの遺言、100年の人生が凝縮された知恵を学ぶ。

2008

アッシジのフランチェスコ Le Tres-Bas
クリスティアン・ボバン／イ・チャンシル 訳
13世紀の聖人と21世紀の詩人との出会い。フランチェスコの聖なる生を甘美に歌う。

2006

お茶を半分飲んでも香りはそのまま
写真：ユ・インゴル、文：キム・ホングン
奥地の人々の純粋かつありのままの姿を通じて現代人の自我を映し出す冥想旅行写真集。

禅画
キム・ホングン(金洪根)
文化遺跡踏査からすくい取った素朴な心の行路。ふと出会った風景から見つけた「禅画」。

2005–2002

私の魂を照らす問い Lettres à Dieu
ルネ・ギトン／ベク・ソンヒ、シム・ミンファ 訳
世界の知性102人が人生の志向について問いを投げかけ、内面への思索や満たされる瞬間を提案する。

ピエール神父の告白 Confessions by L'Abbé Pierre
アベ・ピエール／ベク・ソンヒ 訳
フランス人が最も尊敬する人権活動家、ピエール神父の愛や兄弟愛、そして死についての告白。

2001–2000

豊かな貧乏 Richness de la Pauvreté
シスター・エマニュエル／ベク・ソンヒ 訳
シスター・エマニュエルの幸福論。分かち合い、愛、自発的な貧乏を通じて幸せに至る道を提示する。

還俗
キム・ナミ
聖職者から日常人に戻った5人の物語。真実の人生をどう生きていくべきか。

単純な喜び Mémoire d'un croyant
アベ・ピエール／ベク・ソンヒ 訳
今世紀最高のヒューマニスト、ピエール神父の自伝的な記録。

悲しみが希望へ
キム・ヘジョン(金慧貞)
がんと闘っていく一人の命の希望報告書。他人の苦痛に無頓着な人々へ贈る切なるメッセージ。

あなたは去り、わたしは残った
Living with Loss, Healing with Hope
アーリ・グロルマン／ヒョン・インセ 訳
ラビ（ユダヤ教指導者）である著者の格言集。死別の悲しみを癒す知恵の言葉。

人物の空間

「一人の人間の生きる姿、世界を理解する空間」
私たちが生きている世界の香りは結局ひとりひとりの生きた痕跡、そのパノラマからあふれ出る。
人間の生きる姿を通じて私たちは深い海のようなその魂の中に入り込む。

2014

スティング Broken Music: A Memoir
スティング（ゴードン・マシュー・トーマス・サムナー）/ オ・ヒョナ 訳
独自の音楽言語で数多くの名曲を残したシンガーソングライター、スティングの自伝。大きな振動で近づいてくる成長の場面。

2013

味よりおしゃべり
中川秀子, ソン・ヒョンギョン
韓国生活19年目。料理教室グルメ・レブクーヘンの先生、中川秀子と作家ソン・ヒョンギョンが出会った料理教室の人々のにぎやかな話。

2011

シェフの娘
中川秀子
日本で生まれた帰化韓国人の中川秀子。彼女が日本、ドイツ、スペインそして韓国などさまざまな国をめぐりながら体験した食、文化、生き方の話。

2010

カミーユ・クローデル
Correspondance
カミーユ・クローデル / キム・イソン 訳
カミーユ・クローデルが一生の間に取り交わした手紙。芸術家である前に一人の人間として残した生き生きとした肉声！

2008

エリック・クラプトン Eric Clapton: The Autobiography
エリック・クラプトン / チャン・ホヨン 訳
ロックの生きた伝説、エリック・クラプトンの自伝。華やかな人生の後ろに隠された自然人の姿。

ホランのダ・カーポ
ホラン(蝴瓏)
ミュージシャンのホランが綴る33編の書評と21編の音楽についての語り。痛みと成長のすべてが込められた最も私的な告白。

2006–2002

嘘つきアーニャの真っ赤な真実
米原万里 / イ・ヒョンジン 訳
イデオロギーに巻き込まれた著者の幼年時代を通じて描いた東欧現代史。

10人の日本人、韓国にハマる
チョ・ヤンウク(曺良旭)
愛韓派の日本人10人の話。文化を話題に韓国と日本が心と心で出会った。

私は人生を信じる Dans l'enfer des tournates
サミラ・ベリル / ヨン・ギョンシク 訳
日常化した性暴力についての衝撃的な報告書。心の傷を乗り越えて再起したある女性の孤軍奮闘記。

2006–2002

我が家はどこか 1 天涯棋客
芮廼偉 / チョン・スジョン 訳
芮廼偉の碁の道に入った過程から結婚後、韓国へやってくるまでの自伝的記録。

我が家はどこか 2 天涯棋客
江鎚久 / チョン・スジョン 訳
江鎚久の碁の道に入った過程や選手生活、アメリカでの活動、妻である芮廼偉と共にした韓国生活。

若き日をお願い
ファン・ジョンミン(黄斑珉)
アナウンサー、ファン・ジョンミンの仕事と愛、家族に関する26編の話。自由な発想と平淡な視線が光る。

知恵の空間

「知的な言葉に触れ、思考の幅を広げる」
本を読むことは世界を読むことである。世界に対する洞察力が光る言葉を通じて、人間の存在条件について共に悩みながら知恵を得る。

2014

文化と両義性

山口昌男 / キム・ムゴン 訳

既存秩序にこだわらない「トリックスター型の知識人」、山口昌男が導く広い知の世界。

2013

言葉を育てる

米原万里 / キム・オクヒ 訳

米原万里と日本の名士11人との対談集。養老孟司、児玉清など日本の知性たちと交わす言葉と意味の考察。

必笑小咄のテクニック

米原万里 / キム・ユンス 訳

米原万里の生前最後の作品。古今東西のユーモアを分析し、その原理を明かす。

今、東アジアを読む

ハン・スンドン(韓承東)

保守の時代、韓国と東アジアのゆがんだ関係を振り返る。26年間、東アジアについて悩み続けてきた著者が時代と歴史を語る。

2012

神のいない社会 Society Without God: What The Least Religious Nations Can Tell Us About Contentment

フィル・ザッカーマン / キム・スンウク 訳

アメリカ人社会学者フィル・ザッカーマンが、神がいなくても幸せなスカンジナビア社会を見つめて投げかける宗教と宗教性に関する疑問。

他諺の空似 – ことわざ人類学

米原万里 / ハン・スンドン 訳

ことわざで解いた笑いと滑稽の人類学。下ネタから政治論まで、米原万里がことわざを通して解くからくり眼鏡のような人間万事。

2011

翻訳語成立事情

柳父章 / キム・オクヒ 訳

「社会」「個人」「近代」「存在」などの訳語を通じて受け入れられた異文化が、文化全般でどのような役割をしたのかを究明した比較文化論。

2008

目と心 L'œil et l'esprit

モーリス・メルロー＝ポンティ / キム・ジョンア 訳

「体の哲学者」メルロー＝ポンティの最後の言葉。絵画について綴った詩的なエッセイ。

不実な美女か貞淑な醜女(ブス)か

米原万里 / キム・ユンス 訳

文化摩擦の最前線である通訳現場の話。「万里エッセイ」の起源。

2007

テレビと動物園 L'Écran et Le Zoo

オリヴィエ・ラザック / ク・ソンヒ 訳

スペクタクルの歴史。世論と慣習に流されない自己哲学と節制の必要性を強調する。

魔女の1ダース – 正義と常識に冷や水を浴びせる13章

米原万里 / イ・ヒョンジン 訳

世界情勢についての既存の常識と定義に問い返す痛快な文化人類学。

2006–2004

征服者の視線 La Découverte du Monde

エドウィー・プレネル / キム・ヒョンウク 訳

進歩的ジャーナリストの野心あふれるルポルタージュ。西方世界は他者をどのように再構成したのか。

愛, その幻想の傾斜

キム・ヨンミン(金永敏)

'人の模様'という通路を通じて異性に出会う。「愛」をテーマにした哲学エッセイ。

ティク・ナット・ハンからチョムスキーまで Visionaries

ジョン・スペード、ジェイ・ウォールジャスパー / ウォン・ジェギル 訳

創造的な別の生き方を提示する61人の人々、短いながらもその伝記で、彼らの思想と足跡に出会う。

成長の空間

「新しい知識と情報を吸収することは、人生にまた新たな価値を創り出す」

知識と実践の調和が成長を促し、人生の絶頂に向かって進んでいく。

2013

ママ・エピローグ
シム・ジェミョン(沈載明)

制作する映画ごとに韓国映画史の新たな道標を打ち立てる映画人シム・ジェミョンが打ち明ける思いがけない記録。これは母自身のエピローグであり、その娘が綴るエピローグである。

私という女
イム・ギョンソン(林庚璿)

コラムニスト、イム・ギョンソンの繊細な成長の記録。恥ずかしがり屋で内気な子供が、現実にぶつかりながら大人になる過程を秀麗な言葉で綴る。

ママと恋する時
イム・ギョンソン(林庚璿)

コラムニストのイム・ギョンソンが伝える、信念を持った母の記録。20～40代の韓国の母なら誰もが共感できる話。

2012

偽の憂うつ Rethinking Depression
エリック・メイゼル / カン・スニ 訳

「うつ病というタグをはずしなさい」アメリカの名高い心理治療師エリック・メイゼルが伝える「憂うつな」人のための実存プログラム。

民法の話
ヤンジヨル(梁芝烈)

大衆の言葉で訳した愉快な民法指針書。『ベニスの商人』から「繁城と漢陰説話」まで、物語を通じてやさしく伝える民法の原理原則。

翻訳に生きて翻訳に死んで
クォン・ナムヒ(權南姬)

20年目の日本文学専門翻訳家の、率直ではつらつとした人生談と現実的なアドバイス。

2011

私が楽しければ世界も楽しい
パプチャン(張碩元)

好きなことをするために大企業を辞めて絵を描き始めた作家、パプチャン。彼が伝える才能寄付の楽しさ。

三十歳の家
ノ・ソクミ(盧石美)

絵を描くために町の外れを選んだ画家ノ・ソクミのドキュメンタリーのような人生物語。

翻訳に生きて翻訳に死んで
クォン・ナムヒ(權南姬)

20年目の日本文学専門翻訳家の、率直ではつらつとした人生談と現実的なアドバイス。

2010

ブルックリン午後２時
キム・ミギョン(金美瓊)

元ジャーナリストの著者が、キャリアも母国語も捨てて慣れない土地で新たに迎えた人生の第2幕。

エルメスのなつけ方 Bringing home the Birkin; my life in hot pursuit of the world's most
マイケル・トネロ / コン・ジンホ 訳

パジャマの姿で稼ぐ！ ブランド鞄のネットオークションで成功した男のわくわくする冒険談。

旅行者の古家
チェ・ボムソク(崔凡石)

世界旅行者、生涯一丁目の古家で自由を探し求める。大都市の島のような家の物語。

2008

独身男の物語
チョ・ハヌン(趙韓雄)

平凡な35歳の独身男の日常を率直かつユーモアたっぷりに描く。

小説を生きる
イ・スンウ(李承雨)

小説家イ・スンウが語る、小説を書くことの意味と態度。「私はなぜ書くのか」に悩む者の肖像。

毎日毎日アーティスト The Starving Artist's Way
ナバ・ルベルスキー / チョ・ドンソプ 訳

ニューヨーク芸術家たちのライフスタイル。お金をかけずに「芸術する」方法。

ロマンチックな稼ぎ
チョ・ハヌン(趙韓雄)

ある小心者のコピーライターの弘大(ホンデ)カフェ創業記。

2007

日常を芸術化する戦略 The Creativity Book

エリック・メイゼル / チョ・ドンソプ 訳

一日一日を創造的に生きたい人のための88の方法。

あなたの本心

ハ・ジヒョン(河智賢)

精神科専門医のハ・ジヒョンが臨床と日常を結合させて綴った感情チューニング・マニュアル。

2006

ロマンス薬局

パク・ヒョンジュ(朴玹紬)

言語学者が綴る恋愛の言葉についての51種類の独自の処方箋。

あなたはもう小説を書き始めた

イ・スンウ(李承雨)

「自分の話」を書こうとする人々に小説家イ・スンウが教える創作の秘訣。

Maumsanchaek

マウムサンチェク
心の散策

(121-840) ソウル市 麻浦区 ジャンダリ路　3アンギル 20
Tel: +82-2-362-1452
Fax: +82-2-362-1455
http://www.maumsan.com
maumsanchaek.blog.me
http://twitter.com/maumsanchaek
http://www.facebook.com/maumsanchaek
maum@maumsan.com